

ながasaki

日本赤十字社 長崎原爆病院広報誌

VOL.6

2015

ホッと安心
ホットな気持ちで
情報をクロス!

ほっとクロス

H O T C R O S S N A G A S A K I



表紙：医療安全推進室のスタッフ
(詳しくはP.8へ)

〈特集〉HOT PRESS | 医療の現場

安全な医療環境維持のための

全職員対象体験型医療安全研修について

HOT COLUMN

医療コラム | 乳癌の病診連携について

HOT SERVICE

日本赤十字社長崎原爆病院
病診連携講演会

HOT NEWS

速乾性すり込み式
手指消毒剤について

●使い方と効能・効果 ●使用上の注意点 ●手指消毒の手順

INFORMATION

ニュース&スケジュール

●ほっとごはん(健康食のススメ) ●上田医師の健康レシピ

体験を通して 医療安全を考える 職員研修を目指す



■ 特集

体験型医療安全研修とは？

医療を取り巻く環境は、次々と新しい治療や制度が導入され、年々複雑化しています。そのような中で患者さんが安心して医療を受けられるように、様々な医療安全研修会を職員対象に実施しています。病院は24時間稼働しているため1回の開催では参加が難しい場合もあり、研修会の開催方法が課題でした。また、情報が簡単に得られる現在において、受け身の研修ではなく、より効果的な研修を目指し、体験型の研修を取り入れることになりました。新人職員研修には早くから体験型研修を取り入れていましたが、全職員対象の取り組みは平成23年度から開

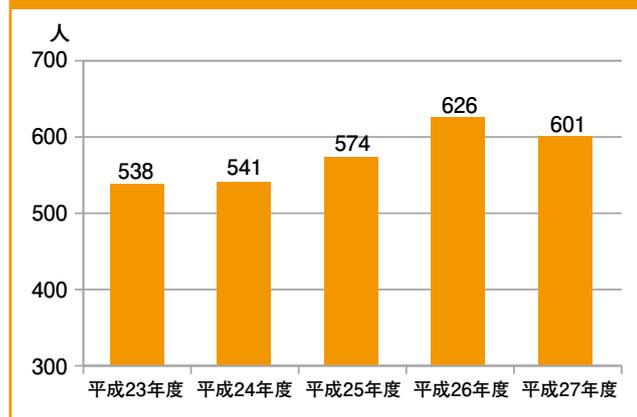
「体験型医療安全研修会開催」

始して今年度で5年目になります。

体験型医療安全研修会の方法は、スタンプラリー方式で平日の2日間開催し10:00~17:00の間いつでも参加可能とし、雇用形態を問わず当院で働く全ての職員が研修対象者です。研修内容は、毎年複数の項目を用意し、全職員にとって意味のある研修となるよう工夫をしています。直接患者さんへ関わる職種は実施方法や注意点を再確認する機会、事務職などは伝票上の項目や医療機器名が実際はどのようなものかを知る機会にもなります。患者体験も含めており、全職種が院内で関わる患者さんの状況を考え、安全を意識した対応につながることも期待しています。

体験型医療安全研修は、多職種が同じ体験を共有し、職種を超えて医療安全について学び、考える機会になることに大きな意味があると思います。企画・運営側と参加者、参加者同士など体験をしながら自然と医療安全に関しての会話ができること、全職員で医療安全に取り組むという雰囲気ができ、安全文化の醸成につながると考えています。

研修参加人数



今年度の研修内容

- ①「心肺蘇生法(AED含む)」は、院内どこでも誰でも初期対応ができるように、毎年取り入れています。
- ②「静脈血栓予防」は、間欠的空気圧式ポンプ装着体験と専用の弾性ストッキングの履かせ方を行いました。治療や手術のために寝ている時間が多くなった場合、下肢の血管に血液が滞ることで塊ができ、その血塊が流れ

肺梗塞などの重大な状況を招くことを予防する必要があります。長時間ストッキングを履くこと、寝ている間も空気圧迫が繰り返されることなど、大事な予防とはいえ患者さんの負担が生じてしまうことを実感することで、より具体的で患者さんの思いに寄り添った説明になると期待しています。

③「杖・歩行器」は、院内には多数の患者さんが使用されており、正しいサイズの合わせ方、使用方法や注意点などを知ること、安全を意識した対応になることを期待して取り入れました。

④「酸素ボンベ」は、生命に直結している重要なものであり、また取扱い方法を間違えると医療者の怪我にもつながるため、定期的に学ぶ機会をつくっています。

⑤「血糖測定・インスリン注射」は、器具の正しい使用方法を学ぶことと患者体験を目的として取り入れました。実際に針を刺し、血糖測定やインスリン注射を経験することで、患者さんの苦痛を理解した対応につながると期待しています。

⑥「ドレーン・チューブなどの展示」では、実物を手に取り挿入中の画像を見ることで、異常の早期発見につながることを目的に種類を選択して見てもらいました。

今年度は、全職員のうち601名(85.9%)が参加して、体験を通して楽しく医療安全を学び、考えることができました。今後も、多くの職員が参加できるよう開催時期や内容などを工夫して、体験型医療安全研修会を継続したいと考えています。





乳癌の 病診連携に ついて

谷口 英樹 副院長

皆さん、病診連携という言葉をご存知でしょうか。最近マスコミにもよく登場する言葉で、病院と診療所（開業医の先生方）との間で役割分担をしていく仕組みです。一昔前、大病院志向という言葉で表される、どんな病気でも大きな病院で診てもらえれば安心という時代があり、結果的に軽症の方々も大病院に集中し、待ち時間の延長や医療従事者の疲弊といった弊害が起こってきました。また、現在の医療は複雑かつ多岐にわたっており、一つの医療機関で完結することは困難になり、地域完結型という言葉で表されるように地域全体で病気を診ていくという時代です。具体的には日常診療は開業の先生方に行っていただき、専門的検査や治療（例えば手術など）は総合病院が担当するということです。その際情報提供の手段としての紹介状はなくてはならないものです。



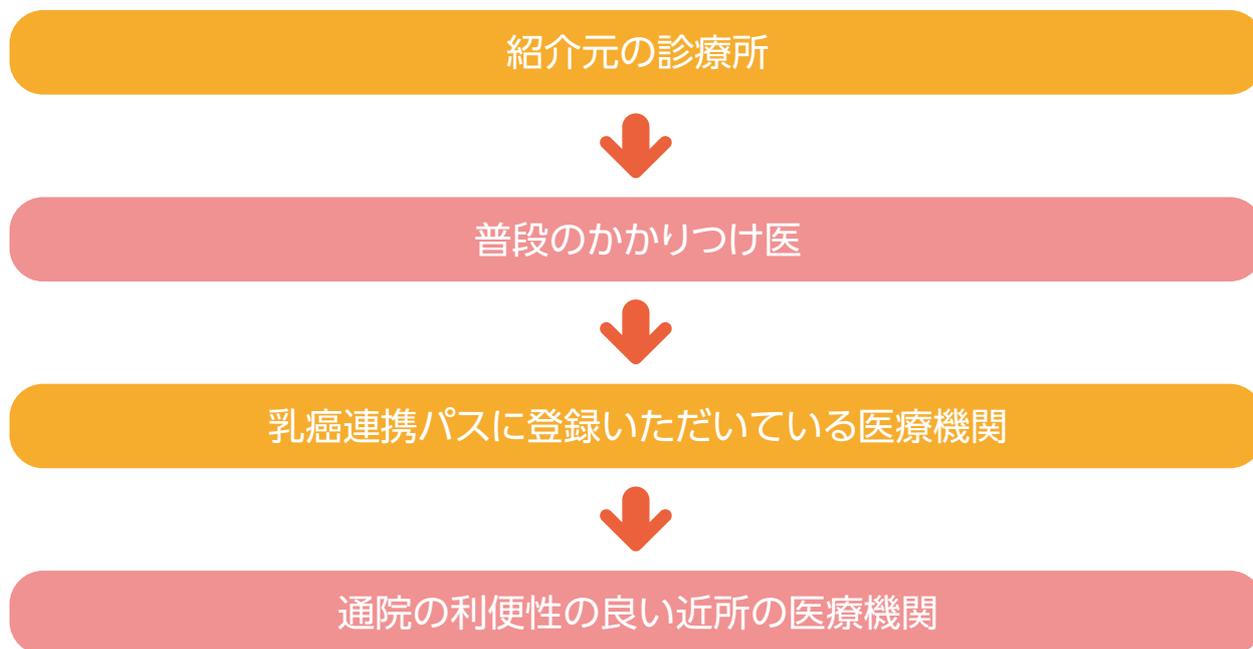
現在私が主に担当している乳癌のお話を少しさせていただきます。日本人の乳癌罹患率（かかる人の割合）は増加しており現在は日本人女性の8%（12人に一人）が生涯のうちに罹患します。しかし診断、治療技術の進歩などにより死亡率は全乳癌の10%程度であり9割の方はかかっても治癒するのです。

◀写真は、当院の乳がん患者と地域連携をテーマに行われた地域連携の会の様子

乳癌の治療は局所療法として手術、放射線治療があり、全身療法として化学療法(抗癌剤)、内分泌療法(ホルモン剤)、分子標的治療があります。乳癌の9割は治癒しますが、病気を放置すれば進行していくのは当然で、適切な治療が必要なことは言うまでもありません。治療には一定の時間と費用がかかり、治療に伴う不利益(例えば手術の後遺症や抗癌剤の副作用など)もあります。しかしながら乳癌で命を落とさないというのが最大の目標であり、適切な検査、治療を通じて患者の皆さまを支えていくというのが我々医療従事者の責務なのです。

さて、病診連携の話に戻ります。私の外来を例にとれば、一日に常時40-50人の患者さんの診療を担当しており、各診療所の先生方からご紹介いただく際の予約が取りにくい状況です。そこで手術、抗癌剤治療を当院で担当した後、落ち着いた時点での術後補助療法(例えばホルモン剤の処方など)は開業の先生のところをお願いし、当院には年に1-2度来院の上、必要な検査をさせて頂くことにしています。決して当院と離れるわけではなく、診て下さる医療施設が増えるということで、当院も責任を持って必要な部分を分担していくということです。

連携いただく医療機関の順番としては



の順番を考えており、各医療機関にもお願いしております。

当院もいよいよ新病院建設に向かって駐車場の建設や井戸の掘削も始まりました。今後とも地域の皆さまに愛される病院となれますよう職員一同頑張ってお参りますので、よろしくお願いたします。

HOT 【ホット、サービス】
SERVICE 

病診連携室(地域医療連携課)からのお知らせ

日本赤十字社 長崎原爆病院 病診連携講演会

当院の診療についての情報を発信するとともに、
地域医療機関の皆様のご意見を賜り、地域全体で患者さんに
良質な医療を提供する地域完結型医療を目的として
病診連携講演会を開催します。

日時

平成27年11月5日 (木)
19:00~19:45

場所

サンプリエール
長崎市元船町2番4号 TEL.095-822-3390

ご挨拶 長崎原爆病院 院長 平野 明喜

『当院における病診連携の実情』

長崎原爆病院 副院長 上田 康雄

『当院の病院建設計画について』

長崎原爆病院 副院長 谷口 英樹

担当者 地域医療連携課 高比良

速乾性すり込み式手指消毒剤について

感染予防の基本は手をきれいにすることです。

病院や病室に入る時や出る時に、どなたもご自由にお使いください。



玄関



病室前

※救急外来入口にもあります。

Q.使い方と効能・効果を教えてください。

A.手に十分にワンプッシュした後、液を手にまんべんなくすり込み、完全に乾燥させましょう。

Q.使用上の注意点を教えてください。

- A.①消毒剤が目や口に入ると危険です。特に小さい子供さんがいらっしゃる時は、覗き込んだり、口に入れることがないように注意してあげてください。
- ②個人差がありますが、手があれる方がいらっしゃいます。使用できない方は十分な手洗いをお願いいたします。
- ③目や口に入った場合は院内スタッフへお伝えください。

手指消毒の手順



まずは、ゆっくり押します



指先



手のひら



手の甲



指の間

正しい手順で
しっかり行いましょう。



【認定看護師の活動について】

安心して療養生活を 送ることができるように 支援しています。



当院の認定看護師

認定看護師とは、特定の看護分野の研修を修了し、専門的に活動を行っている看護師です。当院には、がん化学療法看護、がん放射線療法看護、緩和ケア、乳がん看護、感染管理、皮膚・排泄ケア、訪問看護、糖尿病看護、摂食・嚥下障害看護、の9分野、計13名の認定看護師が在籍しており、院内及び地域での看護実践を行っています。

私たち認定看護師は、院内の看護師だけではなく医師・薬剤師・検査技師など、医療に関係する他の職種とともに、患者さんやご家族の治療や生活での問題の解決に向け、安心して療養生活を送ることができるように支援しています。

患者さんやご家族が安心して療養生活を送れますよう、看護外来や各種教室の開催を行っています。認定看護師による専門ケア外来(看護外来)では、療養生活を送るうえで困っていることやわからないことなどを一緒に考えさせていただきます。各種教室は、相互学習の場、交流の場となります。興味がある方はぜひご参加下さい。

さらに、病院と地域をつなぐ役割を担えるよう、地域で活動されている在宅医療関係者および介護職の方々との連携に努めています。特に今年度は、訪問看護ステーションの看護師の方々と一緒に学ぶ機会を作り情報共有を図っています。

病気に伴うさまざまな症状や日常生活でお困りの事がありましたら、いつでもお気軽に認定看護師にご相談ください。

Vol.6

健康 **ほっと** 豆知識

《放射線科部》 乳がん検診(マンモグラフィー)について

マンモグラフィーとは、乳房専用のレントゲン撮影です。

二枚の圧迫板で乳房をはさみ薄く平べったくした状態で撮影します。薄くすることで乳腺を伸ばし腫瘍などとの区別をつきやすくします。また、薄くなることでX線も少なくてすみます。検査にかかる時間は、左右それぞれを上下方向・斜め方向にはさみ撮影して10分程度です。

検査には痛みを伴いますが、より良く検査を受けるためには必要なことなので、我慢のできる範囲で圧迫を行います。もちろん、痛みが強い場合は撮影技師に遠慮なく伝えてください。

ただし、ペースメーカー埋め込みや豊胸手術をした方はマンモグラフィー検診を受けることができません。

検診の結果は通常1~2週間で届きます。検査結果には“石灰化”と書いてあることがありますが、これはカルシウムが沈着することです。石灰化の7~8割は良性のものです。しかしがん細胞が壊死をおこすと石灰化がおこることがあります。

要精密検査とあれば「(乳腺)外科」を受診しましょう。マンモグラフィー検診を受けた1000人のうち50~100人程度が精密検査の対象となります。さらに乳がんとされるのは3人程度です。

精密検査を受けるのは検診を受けた施設でなくても大丈夫です。最後に乳がん検診は定期的な受診が大事です。2年に1回の乳がん検診と月1回の自己検診で乳がんの早期発見に努めましょう。

【医療安全推進室活動について】

患者さん職員ともに 安心安全な医療環境の 整備を目指し、 多職種で取り組んでいます！



表紙について 写真は、医療安全推進室のスタッフです。

医療安全に関しては医療法によって規模の大小を問わず、全ての医療機関に対して医療安全管理体制の整備が義務付けられており、当院もその内容にしたがって取り組んでいます。当院では医療安全推進の中心的な役割を持つ「医療安全推進室」を設置し、医療安全推進室長（医師）、医薬品安全管理責任者（薬剤師）、医療機器安全管理者（検査技師・臨床工学技士）、医療社会事業司の4名（兼任）と、医療安全管理者（看護師）2名で構成されています。その他には、医療安全に関する情報共有や検討を行う医療安全管理委員会、各部署で医療安全のリーダーシップを図る担当者のリスクマネジメント部会などがあり、連携して組織全体の医療安全を推進しています。

医療安全推進室の具体的な活動は以下の通りです。①週1回のカンファレンスで各部署から報告される医療安全に関する情報の共有と検討・対策についての情報発信②月1回の院内ラウンドで各部門・部署の問題抽出やマニュアルの遵守状況把握③医療安全に関する教育・研修④医療安全のトピックスや様々な機関から入る注意喚起情報などの共有と職員への情報発信など、定期またはタイムリーに多職種が協力して業務を行っています。

個々の職員が医療安全への意識を高めて日々の業務に取り組むと同時に、職員が安全に医療の提供ができる環境整備を行うことで、患者さんが安心して医療を受けられることにつながると思っています。また、患者さんご自身が医療安全に参加していただくことも重要と考えており、名乗ってもらうことや異常を感じた際に教えていただくことでスムーズな対応につながりますので、ご協力をお願い致します。



医療安全くんマーク

医療安全推進室は、これからも院内の組織や個々の職員、患者さんと共に医療安全に取り組み、患者さん職員ともに安心安全な医療環境の整備に努めてまいります。



長崎原爆病院で開催した行事やイベントをご紹介します。

News	Schedule
<p>2015.07</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2015年7月3日(金) 地域連携オープン講座 ● 2015年7月18日(土)~19日(日) 日本ACLS協会 ACLS研究会「ACLS(二次救命処置)」研修 ● 2015年7月21日(火) チェルノブイリ・カザフスタン 関連医師受入研修(NASHIM) 	<p>2015.10</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2015年10月15日(木) 日赤医学会
<p>2015.08</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2015年7月23日(木)~8月9日(日) 原爆慰問 Pick UP + ● 2015年8月9日(日) 原爆の日 ● 2015年8月15日(土) 精霊流し ● 2015年8月18日(火) 軍艦島観光船海難救助訓練 Pick UP + 	<p>2015.11</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2015年11月中旬 追悼式(解剖慰霊祭) ● 2015年11月29日(日)~30日(月) 九州八県支部合同災害救護訓練(伊王島)
<p>2015.09</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2015年9月15日(火) 航空機事故対処総合訓練(長崎空港) 	

Pick UP+プラス

2015年7月23日(木)~2015年8月9日(日) 原爆慰問

70回目の長崎原爆の日(8月9日)に向け、本年も多く慰問団が来院され、見舞い品・寄贈品を頂戴いたしました。厚くお礼申し上げます。慰問くださいました方々を右記にご紹介します。



長崎市長慰問

- 7月23日(木) なのはな生活協同組合
- 7月29日(水) 有田地区窯業産業慰問団
- 7月31日(金) 長崎市長、長崎市議会議長(代理)
- 8月 3日(月) 長崎県知事(代理)
- 8月 7日(金) 平和環境岩手県センター
- 〃 三洋電機労働組合 営業総合支部
- 〃 日本生活協同組合連合会
- 8月 8日(土) 日本共産党
- 〃 原水爆禁止世界大会神奈川県実行委員会
- 〃 広島市長・議長・被爆者代表
- 〃 興石参議院副議長
- 〃 竹田少年平和使節団
- 〃 原水爆禁止世界大会実行委員会海外代表
- 8月 9日(日) 生活協同組合コープこうべ

Pick UP+プラス

2015年8月18日(火) 初の軍艦島観光船海難救助訓練に参加

当院の医療救護班が長崎港・水辺の森全面海域で行われた、長崎海上保安部による初めての軍艦島観光船海難救助訓練に参加しました。観光船が航行中、浮遊物に衝突したと想定。日赤救護班は船内での応急救護・傷病者を治療の重症度で分けるトリアージ・無線通信訓練などを行いました。日本語が話せない傷病者も設定され、外国人観光客への対応訓練にもなりました。今後も赤十字病院として関係機関と連携しながら地域に根差した活動を続けていきます。



トリアージの様子

HOT COOKING
ほっとごはん
健康食のススメ

元気な毎日は、美味しく健康的な食事から！
美味しく役に立つ情報をご紹介します！！

減塩食は素材でおいしく！～かんきつ類～

料理に使うかんきつ類と言えば、レモン、かぼす、すだち、だいたい、ゆず等が思い出されます。かんきつ類の酸味や香味、風味が減塩食をより美味しく仕上げてくれます。

果汁は酸(クエン酸)が多く、食酢として利用されます。酢物、和え物、蒸物、焼き物、鍋物等に使います。果皮には香りの成分が多く、薄くそいで汁物の吸い口にします。細かく刻むか、あるいは卸す等して、和え物、焼き物、蒸物に利用することもできます。

3～5℃下でポリエチレン袋に入れて保存すれば長期保存ができ、冷凍庫で保存すれば、長期間風味を保つことができます。いろんなかんきつ類で、美味しい減塩食をどうぞ。



上田医師の健康レシピ | Healthy recipe

五島うどん



完成したうどんと長崎一番の鯛あげかまぼこ

前回の我が家風カレーの材料に抜けがありました。カゴメトマトペースト(トマト9個ぶん)を書き忘れていました。お詫びして訂正します。

今回は、五島うどんです。稲庭(秋田県稲川町)讃岐(香川県)と並んで3大うどんとされます(いろんな3大うどんがありますが)。細麺で打ち粉が椿油というのが特徴です。ルーツは中国・浙江省永嘉県岩坦地区の素麺(素麵)という説があるようです。

材料

- 五島うどん(乾麺 300g) ①②
- ゆでた後、六等分して冷凍保存
- タマネギ(適宜) 冷凍しておく ③
- 白ネギ(適宜) 冷凍しておく ④
- 野菜か海老の天ぷら(冷凍保存可) ⑤
- 長工醤油の「焼きあごだし うすいり」(無添加) ⑥

作り方

あごだしを熱湯で8～10倍に薄めてめんつゆとする。薄いと思われたら粉末のだしを少々加えると良い。めんつゆに解凍した材料を投入してできあがり。うどんの解凍は500Wで約3分。うどんだけでは物足りないので納豆やあげかまぼこなどを添える。



編集後記



事務部長
立石一弘

今年度3回目の「ほっとクロス」を発刊することができました。皆様にも未長くご愛読いただくため、内容等がマンネリ化しないよう心掛けており、今回からシリーズで「認定看護師コラム」の記事を掲載しております。ご愛読の皆様からも内容等に関するご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

日本赤十字社 長崎原爆病院



【理念】

赤十字の使命のもとに、地域並びに被爆者の皆様へ良質な医療を提供します

【病院の基本方針】

- ① 高度で良質な医療を目指し診療の専門性を高めます
- ② 被爆者の健康管理と診療の充実に努めます
- ③ がん診療の拠点病院として医療の充実に努めます
- ④ 医療連携を促進し、救急医療をはじめ地域医療に取り組みます
- ⑤ 赤十字及び行政と連携して災害時の医療救護活動を行います
- ⑥ 教育実習病院として医療従事者の教育に努めます

【患者さんの権利】

- ① 個人の尊厳が尊重される権利があります
- ② 良質な医療を公平に受ける権利があります
- ③ 診療・治療に関する説明を受ける権利があります
- ④ 診療・治療行為を選択し決定する権利があります
- ⑤ 個人情報がかまられる権利があります

ほっとクロス

HOT CROSS NAGASAKI

“ほっとクロス”とは、ホッと安心したり、ホットな気持ちになったり、みなさまと情報を「クロス」し共有していく季刊発行の院内情報誌です。院内の広報委員のスタッフ皆で毎回ホットな特集を組み、お役に立てる情報を掲載すべく病院各部署のスタッフそれぞれから原稿を集め誌面を制作しています。

診察室		月	火	水	木	金	
内科	新患	101	鶴田	加治屋	木下	芦澤	重野
		102	福田正	城	※2 橋口/須山	堀尾	北崎
		103	※1 岡田/鈴木	三浦	雨森	安井	※3 上田/中尾/永延
		104	救急患者対応	救急患者対応	救急患者対応	救急患者対応	救急患者対応
	再来	105	芦澤	雨森	芦澤	岡田	堀尾
		106	安井	堀尾	楠本	鈴木	濱崎
		107	城	橋口	岡田	北崎	鶴田
		108	木下	鈴木	三浦	須山	芦澤
		109	橋口	木下	城	福田正	福田正
		110	加治屋	重野	救急患者対応	竹下	雨森
		111	救急患者対応	救急患者対応	救急患者対応	救急患者対応	救急患者対応
		112	中尾	永延	上田	上田	安井
		113	専門看護	専門看護	専門看護	専門看護	専門看護
内視鏡		楠本/竹下	鶴田/竹下	加治屋/重野	鶴田/重野	加治屋/楠本	
専門外来		精神科 (110 診) 三宅: 第1、3週 木下裕久: 第2、4、5週	リウマチ (105 診) 川上: 14時~ 頭痛 (103 診) 木下郁夫: 13:30~		てんかん 馬場: 14時~1、3、5週	リウマチ (112 診) 岡田: 14時~	
緩和ケア			後藤 (午前)				
健診センター	診察	松山比	松山比	松山比	松山比	松山比	
	透視	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	
外科	1	柴田健	柴田良	谷口	谷口	畑地	
	2	中崎	畑地	柴田健	中崎	佐野	
	3	吉元		※4 松丸	佐野	※5 中崎	
整形外科	新患	1	村田		※6 村田	※6 村田	
		2		田中	川口	橋川	坂本
	再来	3	川口	坂本	坂本	川口	橋川
		4		橋川	田中		田中
形成外科			※7 平野		※7 平野		
皮膚科	1	鳥山	鳥山	鳥山	鳥山	鳥山	
	2	江原	江原	江原	江原	江原	
泌尿器科	新患	3	光成	今里	今里	今里	
	再来	2	今里	光成	光成	光成	
婦人科	I 診		鮫島	鮫島	鮫島	鮫島	
	II 診		嶋田 (貴)	嶋田 (貴)	嶋田 (貴)	嶋田 (貴)	
眼科	1		脇山	脇山	脇山	脇山	
	2		栗原	栗原	栗原	栗原	
	3		宇野木	宇野木	宇野木	宇野木	
耳鼻咽喉科	1		隈上	隈上	隈上	隈上	
	2		北岡	北岡	北岡	北岡	
放射線科			大坪	大坪	大坪	大坪	
			森	森	森	森	
放射線治療科			松山直	松山直	松山直	松山直	
			林	林	林	林	

- ※1 月曜日内科103診: 第1、3、5月曜日
/ 岡田医師・第2、4月曜日/鈴木医師
- ※2 水曜日内科102診: 第1、3、5水曜日
/ 橋口医師・第2、4水曜日/須山医師
- ※3 金曜日内科103診: 上田医師と中尾/永延医師が
隔週で診察します。
- ※4 心臓血管外科外来: 1、3、5の水曜日午前中。
- ※5 外科外来の金曜日3診の中崎医師の診察は、
午前10時までです。
- ※6 整形外科の水曜日1診、金曜日1診の村田医師は
再来です。
- ※7 形成外科: 14時から予約のみ。
- ◎水曜日の皮膚科病棟の往診は休み
- ◎眼科紹介は水・金曜日午前中のみ



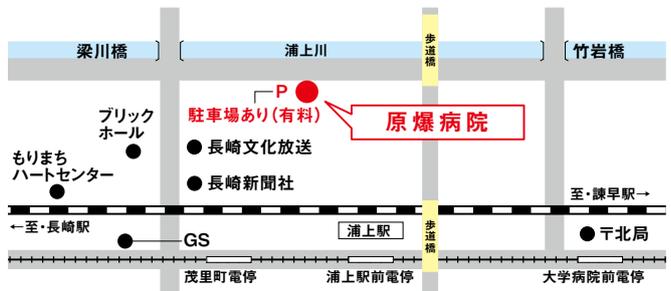
診療受付時間 初診/午前8時30分~午前11時00分
再診/午前8時00分~午前11時00分

※再来受付機による受付は午前8時00分より行っています。
※禁煙外来をご希望の方は、2階健診センターへご相談下さい。

診療開始時間 午前8時45分~

休診日 土、日、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)
日本赤十字社創立記念日(5月1日)

※学会出張等により、代診または休診する場合がありますのでご了承下さい。
※一部の医師については、随時変更があります。



日本赤十字社 長崎原爆病院

〒852-8511 長崎市茂里町3-15 TEL.095-847-1511

FAX.095-847-8036

<http://www.nagasaki-med.jrc.or.jp/>

長崎原爆病院 検索